

講義5

令和6年度の研修について

評価者フォローアップ研修(共通コース)

令和6年4月開催

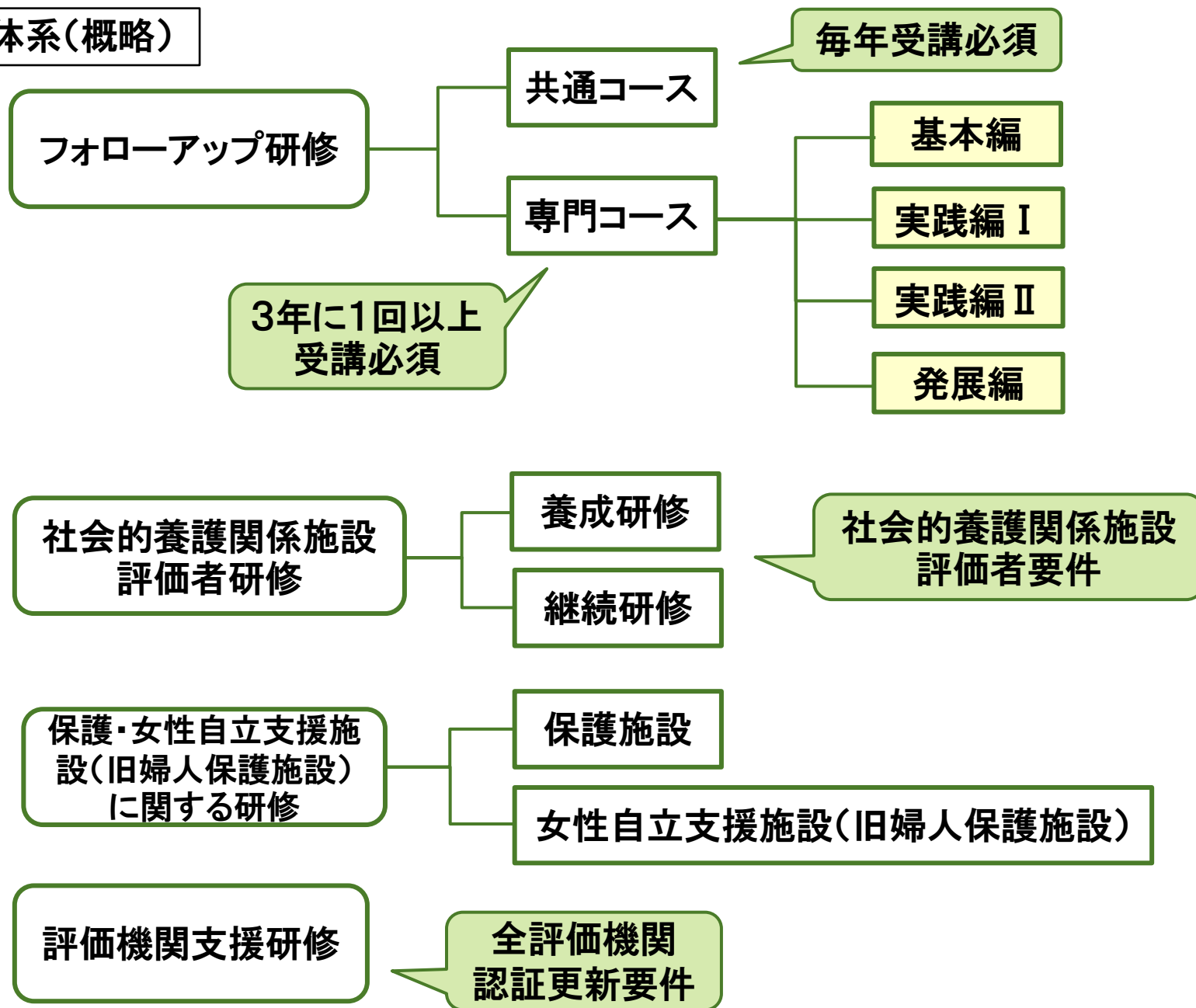
東京都福祉サービス評価推進機構

講義内容

- 1 評価者研修の体系
- 2 令和6年度 研修計画
- 3 評価者フォローアップ研修(専門コース)
- 4 研修受講上の留意点
- 5 第三者評価HP上の様式・データ等

1 評価者研修の体系

研修体系(概略)



(1)フォローアップ研修(共通コース)

全評価者の悉皆研修(毎年度受講必須)

《研修目的》

- ・当該年度の評価手法や各年度ごとに見直しまたは新たに策定した共通評価項目等の周知
- ・当該年度の正確かつ円滑な評価活動の実施

(2)フォローアップ研修(専門コース)

評価者が「3年に1回以上」受講必須の研修

→スライドp.18「3 評価者フォローアップ研修(専門コース)」参照

《研修区分》

研修内容・対象者別に4段階の設定

	対象者	研修の目的
基本編	全評価者	基本的な知識の習得
実践編Ⅰ	評価経験の少ない評価者 (0～10件程度)	評価活動で求められる実践的なスキルの習得
実践編Ⅱ	一定の評価経験のある評価者 (11件以上)	実践編Ⅰの内容を踏まえたレベルのスキルの習得
発展編	一定の評価経験のあるリーダー的役割の評価者	評価チームリーダーとしてのスキルアップ

(3)社会的養護関係施設評価者研修

①【養成研修】

〈対象者〉社会的養護関係施設の評価を実施する、または今後実施予定の評価者すべて

②【継続研修】

〈対象者〉以下の二つの要件を満たしている者

1. 令和6年4月1日現在、社会的養護関係施設評価者であること
2. 直近2年間(令和4, 5年度)のうちに1件以上、東京都の社会的養護関係施設の評価実績があること

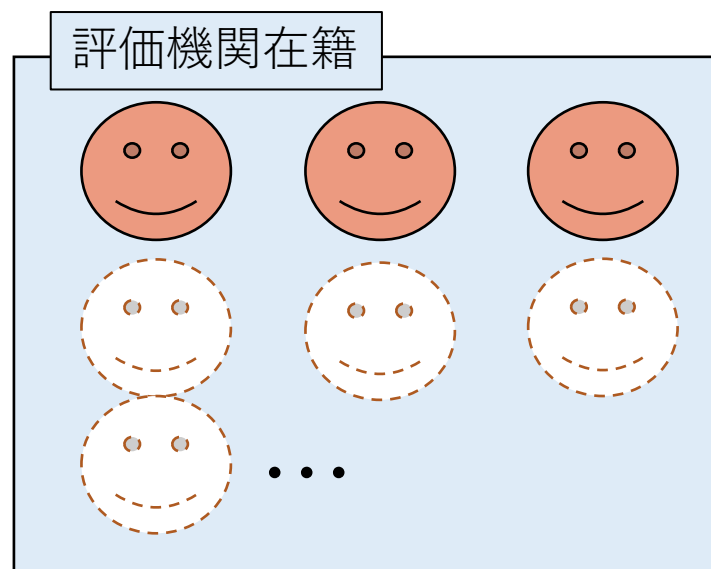
※評価者継続の要件として「必要なフォローアップ研修」の実績にはなりません。

■ 社会的養護関係施設評価機関の認証・更新の要件等

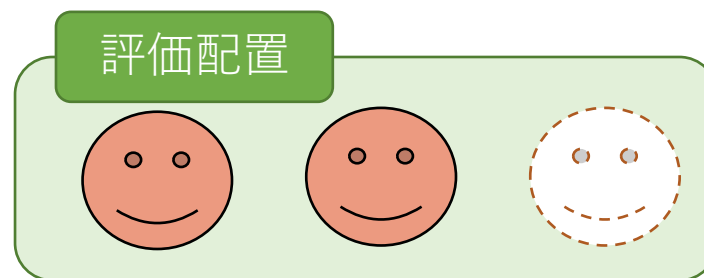
認証要綱	実施要領	令和5～7年度
<p>第2条第9号の4 社会的養護施設評価機関においては、当該評価機関を主たる所属とする評価者のうち、<u>3人以上は、社会的養護関係施設第三者評価の評価者としての要件を満たす者</u>が所属していること。</p>	<p>第10条の3 新たに社会的養護関係施設評価機関の認証を受けようとする評価機関または、認証を更新しようとする評価機関は、第10条の2で規定する評価者のうち、<u>申請時を含む過去3か年度以内に機構が実施する研修を受講し修了した評価者を少なくとも3名以上を確保</u>することとする。</p>	<p>認証期間 3年間（今期は令和5～7年度）</p> <p>認証要件 3年以内の養成・継続研修を修了した主たる評価者が3名以上在籍</p> <p>評価実施要件 3年以内の養成・継続研修修了者を2名以上配置</p> <p>更新要件 社会的養護関係施設の評価実績が3年間で3件以上 （次回更新は令和8年度）</p>
<p>第2条第13号の2 社会的養護関係施設の評価の実施にあたっては、<u>社会的養護関係施設第三者評価の評価者としての要件を満たす者であって研修受講要件を満たす者</u>を必要数配置すること。</p>	<p>第15条 要綱第2条第13号の2に規定する「社会的養護関係施設第三者評価の評価者としての要件を満たす者であって研修受講要件を満たす者を必要数配置」とは、一件の評価に必要な評価者のうち<u>評価実施年度を含む過去3か年度以内に機構が実施する研修を受講し修了した評価者を少なくとも2名以上</u>を配置するものとする。</p>	

■ 在籍・配置要件イメージ

3年以内に社会的養護関係施設評価者養成研修または継続研修を修了した、社会的養護関係施設評価者3名以上



3年以内に社会的養護関係施設評価者養成研修または継続研修を修了した、社会的養護関係施設評価者2名以上



3年以内に社会的養護関係施設評価者養成研修または継続研修を修了した、社会的養護関係施設評価者



3年以内に社会的養護関係施設評価者養成研修または継続研修を修了していない社会的養護関係施設評価者、及び一般の評価者

■ 3年以内の養成・継続研修修了者の考え方

社会的養護関係施設評価機関の認証要件、評価実施要件における
3年以内の養成または継続研修修了者として適用される年度について

		認証年度／評価実施年度		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
研修修了年度	令和3年度	○	×	×
	令和4年度	○	○	×
	令和5年度	○	○	○
	令和6年度	—	○	○
	令和7年度	—	—	○

(例)令和6年度に社会的養護関係施設を評価する際は、評価実施チーム内に
令和4～6年度に養成または継続研修を修了した評価者の配置が必要。(2名以上)

(4)特別研修

【保護・女性自立支援施設(旧婦人保護施設)に関する研修】

〈対象者〉受講を希望する全評価者

《研修目的》

- ・ 評価対象サービスの「保護施設」・「女性自立支援施設(旧婦人保護施設)」に関する法制度、施策の動向についての理解
- ・ サービス現場の状況や取組み等、評価の実施に役立つ基本的知識の習得

※ 令和6年度の実施予定はありません。

※ 評価者継続の要件として「必要なフォローアップ研修」の実績にはなりません。

(5) 評価機関支援研修

全評価機関の認証更新要件
となります。

〈受講対象者〉

評価機関代表者、評価者育成責任者、
評価手法管理責任者、事務局職員 等

〈受講対象年度〉

令和5～7年度

※認証有効期間である3か年度内で、任意の年度に1回以上受講

※認証有効期間は、認証を受けた日にかかわらず、機構が定める3か年度

2 令和6年度研修計画について

(1)研修実施計画

〈フォローアップ研修(専門コース)〉

	研修名
基本編	評価者のためのベーシックスキルの習得 ～「論理的思考と伝達方法」の基礎を学ぶ～
	福祉サービスの現状を学ぶ ～児童分野(学童クラブ)～ (※eラーニングにより実施)
	福祉サービスの現状を学ぶ ～障害分野～ (※eラーニングにより実施)
	利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～
	利用者調査の手法を学ぶ ～障害分野～

〈フォローアップ研修(専門コース)〉

	研修名
実践編Ⅰ	福祉サービスの共通評価項目を学ぶ ～高齢分野～
	福祉サービスの共通評価項目を学ぶ ～障害分野～
	評価の視点の導き出し方を学ぶ《高齢事例》
実践編Ⅱ	福祉サービスの共通評価項目の理解を深める ～高齢分野～
	福祉サービスの共通評価項目の理解を深める ～障害分野～
	評価の視点の導き出し方の理解を深める《児童事例》 new!!

〈 社会的養護関係施設評価者研修 〉

研修名
社会的養護関係施設評価者 養成研修
社会的養護関係施設評価者 継続研修

〈 評価機関支援研修 〉

研修名
評価機関に求められるコンプライアンスと人材マネジメント (※eラーニングにより実施)

(2)研修開催日程等

①開催日等

研修実施計画は、第三者評価HP上に掲載(※)

開催日決定後、「研修計画」情報を随時更新

※確認方法

第三者評価HPのトップページ⇒『機構からのお知らせ』

またはデータ集⇒『研修関連資料』欄

②研修の募集案内

- 研修開催日の約1か月半前に、評価機関へメールにて通知
- 集合研修は、所属評価機関経由で申込(FAXのみ)
- eラーニングにより実施する研修は申込方法が異なります。

→スライドp.25「4 受講上の留意点 (5) eラーニングによる受講」参照

3 評価者フォローアップ研修 (専門コース)

(1) 専門コース受講の義務付け

専門コースは「評価者養成講習受講年度ごとに評価推進機構が別表に定める3年間に1回は受講すること」と規定

【参照】

- ・ 令和6年2月13日付5財情報第2200号

『福祉サービス第三者評価機関認証要綱第2条第9号に定める「必要なフォローアップ研修」について(通知)』

(掲載場所)

第三者評価HP→『データ集』→『研修関連資料』欄

(2)「専門コース受講の3年間の区切り」の確認

① 評価者番号ごとの「3年間の区切り」一覧表（頭の数字を参照）

評価者養成講習 修了者番号 (修了年度)	H05 (17年度) H08 (20年度) H11 (23年度) H14 (26年度) H17 (29年度) H20 (R2年度) H23 (R5年度)	H06 (18年度) H09 (21年度) H12 (24年度) H15 (27年度) H18 (30年度) H21 (R3年度)	H02 (14年度) H03 (15年度) H04 (16年度) H07 (19年度) H10 (22年度) H13 (25年度) H16 (28年度) H19 (31/R元年度) H22 (R4年度)
現行の区切り 〈今期〉	<u>令和4年度～</u> <u>令和6年度※</u>	令和5年度～ 令和7年度	令和6年度～ 令和8年度

※ 「H23」から始まる評価者については、令和6年度は受講したものと見做す。

(2)「専門コース受講の3年間の区切り」の確認

② 3年間の区切りの最終年度が令和6年度の評価者

H05, H08, H11, H14, H17, H20

から始まる評価者

 未受講の方は今年度中に受講してください

※対象者については、令和6年2月19日付で各評価機関に通知済み。

※令和6年度に受講しない場合、令和7年4月1日付で評価者名簿から
抹消となります。

(2)「専門コース受講の3年間の区切り」の確認

その他の評価者（受講の最終年度が令和7, 8年度）

- ・ 3年間の区切りの期間内で計画的に受講してください（1回以上）



期間に余裕を持った受講を推奨します

- ・ 最終年度に受講するリスク
 - … 評価活動と被ってしまい予定が合わなくなった
 - 急用/体調不良で出席できなくなった
 - 受講期間内に修了できなかった(eラーニング研修) 等

(3)修了した研修の確認方法

フォローアップ研修(専門コース)の修了を確認する方法は以下のとおりです。

- ① 所属評価機関に送付される「修了者名簿」
⇒所属の評価機関に問い合わせ確認
- ② 第三者評価HPに掲載される「評価者名簿情報」
⇒評価者情報を検索して確認

【留意事項】

受講履歴を確認するときは次の点にご注意ください。

以下の研修はそれぞれ、3年間に1回受講することが定められているフォローアップ研修(専門コース)には該当しません。

- 社会的養護関係施設評価者研修(養成研修／継続研修)
- 保護・女性自立支援施設(旧婦人保護施設)に関する研修
- 評価機関支援研修

4 研修受講上の留意点

(1)受講者確認について(集合型)

① 本人確認

研修の受講時には、受講者の本人確認のため、所属する主たる評価機関が発行する「評価者証」を持参し、受付で提示してください。

■ 評価者証を所持していない場合(紛失、未発行等)

評価者証は、評価活動を行う際にも所持が必要です。

(認証要綱2条9号の5)

⇒所持していない評価者は、速やかに所属評価機関へ申し出て、発行してください。

(2)研修の受講・修了条件(集合型)

① 受講票確認(入金確認)

研修の受講時には、コンビニエンスストア払込票の、受領印の押された本人控(コピー可)を1日目の受講票に貼付し、受付で提出してください。払込期限までに入金の確認ができない場合、受講をお断りすることがあります。

なお、コンビニエンスストア払込票に適格請求書が付随していますので、各自大切に保管ください。

② 研修の修了条件

研修は、カリキュラムの全日程に参加することで修了となります。途中退席、中抜け、2日制研修の単日のみの参加等は、原則として修了扱いにはなりません。

(3)研修に関する問い合わせ(集合型)

【評価者からの問い合わせ例】

- ・研修の開催通知が送られてこない
- ・いつ受講決定の書類が届くのか
- ・受講決定後にキャンセル(辞退)する場合はどうしたらよいか
- ・今年度、評価者名簿からの抹消対象になっているか

⇒直接、機構へ問い合わせをするケースが見られますが、
まずは所属する評価機関に問い合わせをお願いします。

(4)研修受講辞退の手続き(集合型)

①受講決定後に、研修受講を辞退する場合

②研修当日、やむを得ず欠席する場合(体調不良等)

→評価者は、所属する評価機関へ必ず連絡をしてください。

①・②の場合ともに、所属評価機関を通じて「評価者研修受講
辞退届」を提出してください。(原本を郵送)

※「評価者研修受講辞退届」は第三者評価HPの『データ集』の『研修関連資料』欄からダウンロードしてください。

(5) eラーニングによる受講

① 令和6年度にeラーニングにより実施予定の研修

	区分	研修名	開催時期
1	評価者フォローアップ研修 (専門コース)	福祉サービスの現状を学ぶ ～児童分野(学童クラブ)～	5月～8月
2	評価者フォローアップ研修 (専門コース)	福祉サービスの現状を学ぶ ～障害分野～	10月～12月
3	評価機関支援研修	評価機関に求められるコンプライアンスと人材マネジメント	8月～9月

※開催時期等が確定次第、評価機関経由でご案内します。

② eラーニング研修の受講の流れ

※専門コース
受講時不要

受講者マニュアル

STEP1

ユーザIDの発行

※IDは年度ごとに発行が必要

P.4-8

STEP2

コースの申込み

P.11-14

STEP3

機構承認後、お支払情報の入力

P.15-22

STEP4

コンビニエンスストアでお支払い

STEP5

受講

※受講期間終了後、約1カ月間は復習視聴可能

P.23-27

令和6年2月1日付で受講者マニュアルを改訂していますので各自ご確認ください。
(評価機関掲示板の『お知らせ』にも掲載しています)

③ eラーニング受講時の留意点

(A) 受講期限の厳守

受講期限を過ぎると未修了扱いとなりますので、十分ご注意ください。

(B) ログイン用のユーザID・パスワード

同じ年度のeラーニングで実施する研修の「ユーザID」「パスワード」は共通コースと同じです。 新たにIDを発行しないでください。

(ユーザIDが不明な場合は、所属評価機関へお問い合わせください。)

(C) 修了の確認

共通コースと同じく、eラーニングシステムの画面上に「修了」と表示されていることをご確認ください。

(D) インボイス対応

支払情報登録後に受講者宛に届く「お支払内容連絡メール」が適格請求書となります。(※次スライド参照:「受講者マニュアル」より抜粋)

[お支払手続き完了画面]

お支払手続き完了

お申込を承りました。ご利用ありがとうございます。
下記および、別途お送りした「お支払内容のご案内」

■お申込No. 41551

- ご登録されたメールアドレス宛に「お支払内容のご案内」メールを送信いたしましたので、内容をご確認ください。
※開講通知メールなど各種メール配信日にメールが届かない場合、まずは迷惑メールフォルダをご確認ください。
特にフリーメールをご登録の場合は振り分けられてしまうことがあります。迷惑メールフォルダは設定によっては、振り分けたメールを設定期間後に削除してしまうケースもありますのでご注意ください。
- 受講料のご入金確認後、「お申込コース開講のご案内」メールをお送りいたします。
すでに発行されているユーザID・パスワードで、すぐに受講いただけます。
- 入金確認は、お支払手続き完了後、通常、即日～2営業日以内となります。
(販売元やお支払方法により異なります。)
- 「お申込コース開講のご案内」メールをもって、入金完了のご連絡に代えさせていただきます。
- 弊社では請求書／領収書を発行しておりません。
請求書は「お支払内容のご案内」メールを、領収書は以下と代えさせていただきます。
・クレジットカード→お支払明細
・コンビニ決済 →払込受領証

※クレジットカード払いに関する表記がありますが、今回はコンビニ決済のみとなります。



TOP画面へ戻る

Copyright © 2000-2021 NetLearning, Inc. All rights reserved.

[TOP画面へ戻る] をクリックすると、マイルームTOP画面が表示されます。

このメールは適格請求書（インボイス）となっています。
大切に保管してください。

[お支払内容連絡メール例]

テスト様

このたびはeラーニングコースにお申込いただき、誠にありがとうございます。
以下にお申込コースのお支払内容とご請求についてご連絡いたします。

■お申込いただきましたコース内容は以下のとおりです。

お申込No : ……

コースID : 0000N00

お申込コース : 令和3年度福祉サービス第三者評価評価者フォローアップ研修
共通コース

合計金額(税込) : ¥3,500

■お支払内容は以下のとおりです。

お支払先 : ネットラーニング

お客様氏名 : テスト

金額(税込) : ¥3,500

お支払期限 : 2021/×/×

■お支払情報は以下のとおりです。

コンビニ名 : ○○○○

〒660-0000 ○○○○-○○○ ○○○○

東京都福祉サービス評価推進機構 事務局 評価者研修担当
(公益財団法人東京都福祉保健財団 福祉情報部 評価支援室)
TEL : 03 (3344) 8515
E-mail : hyoka@fukushizaidan.jp

東京都新宿区西新宿2丁目7番1号
公益財団法人東京都福祉保健財団
登録番号 : T6011105005340

「受講者マニュアル」 p.20抜粋

5 第三者評価HP上の様式・ データ等

<共通手順>

確認方法

福ナビTOP
ページ
↓
第三者評価
HP
↓
データ集

福ナビTOPページ



「福祉サービス
第三者評価」を
クリック

第三者評価HP

[契約受付中
評価機関一覧](#)

[サービス事業者の
皆さんはこちら](#)

[評価機関・新規申請法人の
皆さんはこちら](#)

10 機構からのお知らせ

[評価者募集中
評価機関一覧](#)

[連続受審事業所の
紹介](#)

[高齢居宅系
評価結果概要版](#)

[保育系サービス
受審事業所リスト](#)

[パンフレット](#)

[ガイドブック](#)

[データ集](#)

[リンク集](#)

2024年01月04日 [2年以上連続して同一の評価手法違反を行った評価機関名等の公表について](#)

2024年3月6日 [令和6年度評価機関認証申請について（評価者の養成が必要な場合）](#)

2024年3月6日 [令和6年度評価機関認証申請について（福祉分野・経営分野各1人以上かつ合計3人以上の評価者を確保できている場合）](#)

2024年2月26日 [令和6年度評価者養成講習の募集要項を掲載しました。](#)

2023年12月19日 [令和5年度フォローアップ研修（専門コース）実践編Ⅱ【福祉サービスの共通評価項目の理解を深める～保育分野～】が終了しました。](#)

2023年12月11日 [令和5年度フォローアップ研修（専門コース）基本編【福祉サービスの現状を学ぶ～高齢分野～】が終了しました。](#)

2023年12月7日 [令和5年度フォローアップ研修（専門コース）基本編【利用者のニーズを学ぶ～児童分野～】が終了しました。](#)

2023年11月27日 [令和5年度福祉サービス第三者評価 評価機関支援研修が終了しました。](#)

2023年11月27日 [令和5年度フォローアップ研修（専門コース）基本編【福祉サービスの現状を学ぶ～障害分野～】が終了しました。](#)

2023年11月22日 [令和5年度第2回評価手法小ワーキングを開催しました。](#)

2023年11月22日 [令和5年度第1回評価手法ワーキングを開催しました。](#)

[過去の機構からのお知らせはこちら](#)

最新の評価結果は311件あります。
(令和6年2月21日から令和6年3月6日)

「データ集」
をクリック

〈研修実施計画・評価者研修受講辞退届〉

確認方法

データ集

福ナビHP



第三者評価
HP



データ集



研修関連資料

研修実施
計画

福ナビ

東京都福祉サービス第三者評価



データファイル (要綱・要領/共通評価項目/手法/研修/関連通知)

データファイル (要綱・要領/共通評価項目/手法/研修/関連通知)

■研修関連資料

- 令和6年度評価者フォローアップ研修(共通コース)研修資料(zip形式)
- フォローアップ研修の受講免除に係る取扱要項(pdf形式)
- 社会的養護関係施設評価者研修の受講免除に係る取扱要項(pdf形式)
- フォローアップ研修(専門コース)受講の3年間の区切り方(pdf形式)
- 令和6年度評価者フォローアップ研修(専門コース)等実施計画(pdf形式)
- 評価者研修の受講辞退届(pdf形式)
- 令和6年度評価者養成講習募集要項(pdf形式)
- 令和6年度評価者養成講習受講者用資料(準備中)

評価者研修
受講辞退届

確認手順

研修実施計画

評価者研修受講辞退届

福ナビHP
↓
第三者評価HP

↓
データ集

↓
研修関連資料

↓
・研修実施計画
・評価者研修
受講辞退届

区分	研修名	令和6年度実施計画		
		定員	日数	開催時期
基本編	評価者のためのベーシックスキルの習得 ～「論理的思考と伝達方法」の基礎を学ぶ～	30名	2日	6～7月
	福祉サービスの現状を学ぶ ～児童分野（学童クラブ）～	150名	④ラーニング	5～8月
	福祉サービスの現状を学ぶ ～障害分野～	130名	④ラーニング	10～12月
	利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～	30名	2日	5～8月
	利用者調査の手法を学ぶ ～障害分野～	30名	2日	5～8月
実践編Ⅰ	福祉サービスの共通評価項目を学ぶ ～高齢分野～	30名	2日	10～12月
	福祉サービスの共通評価項目を学ぶ ～障害分野～	30名	2日	5～8月
	評価の視点の導き出し方を学ぶ 《高齢事例》	40名	2日	10～12月
実践編Ⅱ	福祉サービスの共通評価項目の理解を深める ～高齢分野～	40名	2日	5～8月
	福祉サービスの共通評価項目の理解を深める ～障害分野～	40名	2日	10～12月
	評価の視点の導き出し方の理解を深める 《児童事例》	40名	2日	11～12月
修了予定人数 合計		590名		

記載例

評価者研修受講辞退届

令和 年 月 日

公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 様

所属評価機関名
(申請機関名)

代表者名 印

____年度東京都福祉サービス第三者評価 評価者研修の受講の辞退を、下記のとおり届け出ます。

記

研修種別	<input type="checkbox"/> フォローアップ研修(共通) <input type="checkbox"/> フォローアップ研修(専門) <input type="checkbox"/> 養成講習() コース <input type="checkbox"/> 社会的養護研修 <input type="checkbox"/> 評価機関支援研修
研修名 (フォローアップ専門のみ)	_____ コース
氏名	_____ 印
評価者番号	H _____ 受講生番号 (養成講習のみ)
辞退の理由	_____

様式

以上で 講義5は終了です。
確認テストに解答後、アンケートに
回答いただくことで修了となります。

